

## 令和6年度（2024年度）の研修会などの主な活動

### 1 資料保全（製本）研修の実施

令和6年10月16日と10月17日に、都内区市町村立図書館と東京都図書館等連絡会加盟館の職員を対象に資料保全（製本）研修を行い、合わせて42名が受講しました。

この研修は、都立中央図書館が行っている修理や製本、そして資料保存に関する知識を東京都内の図書館と共有していこうと、平成15年度から行っています。人気のある研修会ですが、対応に限界があるため、参加者は各自治体・機関から原則として1名に絞り実施しています。当館職員が講師を務め、保存や修理に関する基本的な考え方を学び、ページの破れやノドの傷みなどの実習を通して正しい知識と基礎的技術の習得を目指しています。

これまでの研修会での主な質問と回答については、[保存・修理についてのQ&A](#)をご覧ください。

### 2 館内職員対象の研修の実施

当館職員を対象に、資料保存と製本・修理の基本基礎及び資料防災について学ぶことを目的とした「資料保全（製本）研修」を実施しました。

### 3 図書館ツアーの実施

図書館バックヤードツアーの一部として資料保全室の仕事を紹介したほか、小中学生を対象とした「夏休み図書館ツアー手作りノート体験」を令和6年8月6日に開催しました。また、資料保全室の見学を含む「和本づくり体験」を令和7年3月5日に実施し、都民の皆様大変好評でした。

### 4 その他

令和6年6月17日に放映されたテレビ東京「なないろ日和！」のカビ対策特集で、当館の取り組みが紹介されました。地下書庫での対策に加えて、図書のカビ対策専門家として資料保全専門員のインタビューが放映されました。当館のカビ対策については、[カビが発生したら](#)をご覧ください。

資料保全室の業務の見学・視察が13件、資料保存に関する問い合わせは23件ありました。